

ポラール、さらなる進化を遂げた新世代フラッグシップモデル 「Polar Vantage V2」を発表

ランニング、ロードバイクのパフォーマンステスト機能を新たに搭載



スポーツ用ウェアラブルデバイスのパイオニアであるポラール・エレクトロ・ジャパン株式会社(本社:東京都中央区築地、代表取締役:園部英生)は、フラッグシップモデルとなるプレミアムマルチスポーツウォッチ「Polar Vantage V2」(ポラール ヴァンテージ ブイ ツー)を発表しました。心拍数計測とパワー計測、加速度センサーなどから得られる情報を基にパフォーマンスを数値化する機能や、脚力の回復状況をテストできる機能を新たに搭載しました。カラーはブラック、グリーン、グレー・ライムで、希望小売価格は69,800円(税別)です。胸ストラップ型心拍センサー「Polar H10」とのセットは、希望小売価格 75,800円(税別)です。サイズはいずれも M/L サイズです。発売日は 11 月 5 日で、オンラインストアを含む全国のポラール製品正規取扱店で販売を開始します。また、本体と Polar H10 セットのグリーン、グレー・ライムは Shop Polar での限定販売となります。

併せて、ブラック、グリーン、グレー・ライムの S サイズ用ハーフベルトを希望小売価格 1,680円(税別)にて販売いたします。さらに交換ベルトは標準カラーのほかに、ホワイト、レッド、ローズ・プラムの計 6 色を発売します。この交換ベルトには M/L、S の 2 サイズが同梱されています。希望小売価格は 4,980円(税別)です。

Vantage V2 は、心拍数計測に加えてパワー計測を使い、トレーニング効果や回復レベルを可視化します。新設計のアルミニウム合金素材ボディを採用することで、より安定した GPS の受信が可能になり精度が向上、また重さも 52gとトレーニング時に気にならない軽量性を実現しました。バッテリーは、トレーニング時に GPS や心拍計測などの全機能を使った場合は最大 40 時間、心拍計測をオフ・GPS の記録間隔を変更できる省電力設定にした場合は最大 100 時間の連続使用が可能です。堅牢性(耐衝撃、防水、防塵など)では、ミルスペック「MIL-STD-810G」に準拠しています。

新機能の「ランニング パフォーマンス テスト」は、徐々にスピードを上げていくビルドアップ走を行い、最大有酸素スピード(MAS)、最大有酸素パワー(MAP)、最大酸素摂取量(VO2max)を計測します。時計画面に表示されたスピードに合わせて走り、表示されるスピードは時間がたつにつれ少しずつ早くなっていきま

す。表示されるスピードについていけなくなると計測は自動で終了し、MAX、MAP、VO2max などの数値をフィードバックします。テスト結果によって、心拍ゾーン、スピード、パワーゾーンが最適化(更新)され、より現状の能力に合ったトレーニングを行うことができます。Vantage V2 でパワー計測が可能のため、フットポッドなどのセンサーは不要です。

「サイクル パフォーマンス テスト」は、1 時間を全力で走り切ったときにらせる平均パワー(FTP)と、VO2max、パワーウェイトレシオ(W/kg)を計測します。設定した時間(20、30、40、60 分)、ロードバイクなどの自転車に乗り続けます。計測には別売りのパワーメーターが必要になります。

「脚力回復度テスト」はジャンプを 3 回行うことで、脚の回復度を数値化します。プロのアスリートでもトレーニング前にジャンプの高さを測って、回復度を確認しますが、これを Vantage V2 で計測することができるようになりました。

そのほか、スマートフォンの音楽再生コントロール機能や、ウェブサービス「Polar Flow」上では様々なテストで計測したデータを一括で分析できるサービスを追加しました(Vantage V2 ユーザのみ対応)。



Vantage V2 の開発テストには、ポラルのオフィシャルグローバルアスリートで世界トップクラスのレーシングドライバー、バルテリ・ボッタス (Valtteri Bottas) 氏が参加しました。ボッタス氏は、トレーニングの時間確保が難しくなる本格的なレースシーズンが始まる時に Vantage V2 をテストし、次のように述べています。「トレーニングの時間を確保し、睡眠をしっかりとして身体を回復させることは、パフォーマンスを向上させるために重要なことです。しかし、忙しい生活を送っていると、この時間を確保することが非常に難しくなります。そのため、より効率的にトレーニングするために必要なデータとツールが必要になります。Polar Vantage V2 は、この条件を満たしてくれるため、トレーニング時間の確保が難しい時期でも活用することができました」

Polar Vantage V2 に新たに搭載された主な特徴は以下の通りです。

- ランニングのパフォーマンスを計測できる「ランニングパフォーマンステスト」
- ロードバイクなどの自転車のパワーデータなどを計測できる「サイクルパフォーマンステスト」
- 脚の筋力の回復度を計測できる「脚力回復度テスト」
- スマートフォンの音楽再生コントロール機能
- 週間トレーニングサマリーの表示
- ウォッチ画面を使いやすい仕様にカスタマイズ
- ウェブサービス「Polar Flow」に Vantage V2 ユーザ専用のデータ分析サービスを追加
- 省電力設定によるウルトラロングバッテリー 最大 100 時間(心拍計測オフ+GPS2 分間隔記録)
- ミルスペック「MIL-STD-810G」に準拠した堅牢性
- 3 色 10LED(グリーン・レッド・オレンジ)、4 フォトダイオードに進化した、心拍計測センサー「Polar Precision Prime™ センサー」
- 100m 防水「WR100」

<Polar Vantage V2 製品概要>

製品名	Polar Vantage V2
色	ブラック、グリーン、グレー・ライム (M/L サイズ)
バッテリー	24 時間心拍計測使用で最大 7 日間 高精細記録によるトレーニング連続使用で最大 40 時間 (GPS1 秒毎、心拍計測オン) 省電力設定によるトレーニング連続使用で最大 100 時間 (GPS2 分毎、心拍計測オフ)
操作	カラータッチディスプレイ+5 ボタン
重さ	52g(リストバンド含む)
サイズ	直径 47mm×厚さ 13mm
防水	100m 防水(WR100)
希望小売価格	単体 69,800 円(税別)、H10 心拍センサーセット 75,800 円(税別)
発売日	2020 年 11 月 5 日
セット内容	単体: Polar Vantage V2、USB ケーブル、スタートガイド H10 セット: Polar Vantage V2、Polar H10、USB ケーブル、スタートガイド
製品ページ	https://www.polar.com/ja/vantage/v2

<Polar Vantage V2 交換ベルト概要>

種類	カラー	サイズ	希望小売価格 (税別)
交換ベルト	ブラック、グリーン、グレー・ライム、 ホワイト、レッド、ローズ・プラム	2 サイズ同梱 (M/L、S)	4,980 円
S サイズ用 ハーフベルト	ブラック、グリーン、グレー・ライム	S	1,680 円

ポラールについて

Polar Electro(本社:フィンランド、設立:1977 年)は、1982 年に世界ではじめてトレーニング用心拍計モニター装置を開発した、心拍トレーニングのスペシャリストです。同分野のリーディングカンパニーとして約 40 年にわたり、徹底的な研究・分析に基づく革新的な製品を世に送り出してきました。その製品の正確さと性能の高さ、優れた心拍数モニター機能はトップアスリートや専門家に認められ、世界中で使われています。現在、世界 80 カ国以上で販売されています。ポラール・エレクトロ・ジャパン株式会社は、ポラールの 100%子会社として 2009 年 3 月に設立されました。心拍トレーニング講習会などの日本国内における様々な活動を通じて、スポーツにおける心拍トレーニングの重要性をアスリートや一般の方へ広く訴求しています。

- 公式ホームページ <http://www.polar.com/ja>

添付資料

<その他の Polar Vantage V2 の主な機能>

Vantage V2 には、Grit X などに採用された最新機能も搭載しています。

■進化した Polar Precision Prime™ センサー

グリーンとレッドにオレンジを加えた 3 色の LED を計 10 個使用して血管の状態をより正確に把握することができます。皮膚に接触状況を把握する接触型センサー、手の動きで発生する誤差(モーション・アーチファクト)の補正を行う 3D 加速度センサーも搭載。LED とフォトダイオードの相互干渉を最小化し、新開発のアルゴリズムにより、心拍数計測の精度を高めることに成功しました。

■手首でのランニングパワー計測

Vantage V2 本体のみでランニングパワーを計測できます。ランニングパワーがリアルタイムに分かることで、走っている状況を確認でき、より力が入るフォームの確認ができます。また、トレーニングを続けていけば、同じパワーでも心拍数が低くなっていることが分かるなど、トレーニング効果を確認することもできます。

■FuelWise™

一回に補給する炭水化物量とトレーニング時間、平均心拍ゾーンを設定することで、エネルギー補給回数が事前に分かり、適切な量の補給食を用意できます。トレーニング中の心拍数の状況に応じて適切なタイミングでエネルギー補給のアラート(アラーム音+振動)で通知します。また、水分補給についてもトレーニング中に摂取が必要な総水分量が事前に分かり、設定した時間ごとにアラートで通知します。これによって、エネルギー不足による低血糖状態になるハンガーノックや脱水症状を起こす可能性を抑えることができます。

■Hill Splitter™

アップヒル(上り)、ダウンヒル(下り)、平坦という道の状況を、内蔵の気圧計で自動判別します。セクションごとにスピードや距離などを表示するため、「上り区間のみのスピード」などトレーニングに必要なデータを抽出して見るすることができます。

■ルートナビゲーション(要 Komoot アプリ)

ドイツの Komoot 社が提供するルート作成アプリ「Komoot」(一部有料)と連携しており、Komoot で作成したルート情報(GPX、TCX ファイル)を Vantage V2 と同期することで利用できます。ウォッチフェイスにルートが表示されるとともに、進路変更前にアラート(アラーム音+振動)があり、「何メートル先を左折」など次の進路変更までの距離と曲がる方向が表示されます。

■Sleep Plus Stages™

睡眠時の体の動きに加えて心拍数を計測し、詳細な睡眠データを計測します。睡眠時間や、就寝・起床時間といった情報に加え、レム睡眠や深い睡眠の時間、睡眠サイクルの回数などが分かります。これらの睡眠データを分析し、睡眠スコアとして数値化します。睡眠スコアは、過去 4 週間のユーザの平均値と比較することができ、睡眠の改善、悪化などの状況を確認することができます。

■Nightly Recharge™

睡眠時の平均心拍数や、心拍間隔時間、平均心拍数変動、1 分間の平均呼吸数などを計測・分析し、自律神経ステータスとして数値化します。睡眠中の自律神経が、交感神経と副交感神経のどちらが優位に働いたかを見ることで、睡眠の質が分かります。この自律神経に関わる内容と Sleep Plus Stages™ の睡眠スコアをもとに、前日の身体・メンタルの疲れの回復具合が分かり、6 段階で回復状況を評価します。

■FitSpark™

過去のトレーニング履歴や、Nightly Recharge™ のデータから分かる体の回復状況などを基に、その日のうちに実施が推奨されるトレーニングメニューを提供します。トレーニングは大きく、「筋力」「カーディオ（心肺機能）」「サポート（体幹・可動性）」「プログラム」の 4 つに分けられています。推奨されたトレーニングメニューは、心拍数を見ながら実施します。「プログラム」は自分でトレーニング内容を作ることができます。

■Serene™ 呼吸エクササイズ

自律神経の副交感神経を優位にして、自律神経を安静な状態にするため行う、呼吸のエクササイズです。ディスプレイの表示を見ながら息を深く吸って、深く吐くを繰り返します。睡眠前に行うことで、睡眠の質を高める効果も期待できます。

■GPS 機能（みちびき対応）

GLONASS、Galileo、QZSS（みちびき）に対応しています。距離、スピード、平均速度などの計測ができます。トレーニング終了後には、Polar Flow アプリやパソコンとデータを同期し、ルートの確認や走行データの管理を行えます。

■トレーニング負荷 Pro™

トレーニング負荷 Pro™は、筋肉の疲労度「筋肉負荷」と、心肺機能の疲労度「カーディオ負荷」、自身が感じる疲労度「自覚的負荷」の 3 種類の負荷を計測します。筋肉負荷は、ランニングパワーや自転車のパワーメーターなどでパワー計測をした際に、負荷状況を数値化します。カーディオ負荷は、トレーニングで心拍数を計測し、その結果から負荷を数値化します。自覚的負荷はトレーニング後に自分でトレーニングの疲労度を 10 段階評価することで得られます。カーディオ負荷は、直近と過去のトレーニング量を数値化し比較することで、体の状況をオーバートレーニングか適正なトレーニング量かのバランスを見ることができます。これにより怪我につながりやすい危険性を確認することができます。

■リカバリー Pro™

H10 心拍センサーをつけて心電を計測することで、トレーニングによるストレスだけでなく、日常でのストレスも計測し、体の回復状況をより正確に計測します。短期的な回復は起立試験で確認し、このデータと自覚的な回復状況（ユーザが回復に関する質問に回答）、長期的なトレーニング負荷を総合的に評価し、トレーニングのアドバイスをを行います。

■ランニングプログラム

レース当日の日程と距離を登録するだけで、今までのトレーニング実績や、最近の運動量に基づき、すぐにユーザに合わせたランニングプログラムを作成します。Vantage V2 にプログラム内容が表示され、ユーザは設定された距離や心拍ゾーンに合わせたトレーニングを行います。Polar Flow 上では、ランニングメニュー以外にストレッチや体幹トレーニングの動画を見ながら行うことができます。

■ランニングインデックス

ランニング中の心拍数とランニングスピード・安静時の心拍数・最大心拍数からランニング走力を確認することができる数値です。継続的に計測することで走力の向上を確認できます。

■光学式心拍センサーでのフィットネステスト（VO2max（最大酸素摂取量））の実施

有酸素能力を評価し、数値で確認できます。継続的に計測し数値の変動を確認することで、有酸素能力の向上を確認できます。胸ストラップ心拍センサーが不要で、手首の光学式心拍センサーで測定ができます。

■スイム計測（スイミングメトリクス）

スイミングのスポーツプロファイルを選んでトレーニングを開始した際に、心拍数と共に室内でも屋外でもスイミングのストローク数や距離を計測します。また、平泳ぎやクロールなどの泳法を自動認識します。

■Smart Coaching 機能

トレーニング効果： トレーニング直後にトレーニング効果をフィードバックします。有酸素運動、心肺機能、瞬発力の強化などのさまざまな効果を確認することができます。

心拍ゾーン： 初期設定時は最大心拍数の50パーセント(50%HRmax)以上から、10%ごとに最大心拍数(100%HRmax)までをトレーニングの有効ゾーンとして5段階に分けたものが心拍ゾーンです。心拍ゾーンはPolar Flow サービスにて任意に変更が可能です。5段階ゾーンを指標にすることで、効率の良いトレーニングができるだけでなく、運動強度が過度に上がっていることも分かるので、安全なトレーニングが可能となります。

スマートカロリー： 身長、体重、年齢、性別、最大心拍数、実施しているトレーニングの強度に基づいてトレーニング中に消費されたカロリー数を正確に算出します。

■24 時間心拍計測と活動量計

24 時間心拍計測機能です。睡眠中や安静時の心拍数が計測できるため、一日の心拍数の変動が可視化できます。また、3D 加速度センサーにより、活動量を常時計測しています。

■スマートフォン連携でデータ管理や通知受信 (iOS、Android 対応)

Bluetooth® でスマートフォン上のアプリ「Polar Flow App」に連携し、日々のアクティビティ・トレーニングを記録管理できます。ウェブサービス「Polar Flow」上でも同様に管理できます。また、電話の着信やメール受信、SNS をバイブレーションで通知します。会議やプレゼンなどの状況に応じて通知機能はオン・オフの切り替えが可能です。